

地盤調査規格・基準委員会

平成28年度第3回 議事録

日時	平成29年2月24日 (金) 14:00~15:20			場所	地盤工学会 会議室			
委員長	末政 直晃	○	幹事			幹事	浜田 英治	○
委員	久内 伸夫	○	WG1委員	窪田 健二	○	WG2委員	辻野 敏文	○
WG2委員	中野 義仁	×	WG3委員	竹内 真司	○	WG3委員	小松 満	×
WG4委員	平林 弘	×	WG5委員	小早川 博亮	×	WG5委員	百瀬 忍	○
WG6委員	曾田 英揮	×	WG7委員	浅井 健一	×	WG7委員	吉田 輝	×
WG8委員	伊藤 圭二郎	×	WG9委員	長田 昌彦	×	WG10委員	杉井 俊夫	
WG10委員	細谷 真一		WG11委員	平林 弘:兼務	×	WG13(幹事)	横山 幸也	
WG4リダー	大島 昭彦	○	WG5関連	谷 和夫	○			

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定

配布資料

委員会名	資料	資料の有無・番号
地盤調査規格・基準委員会	・ 前回議事録 (H28-12-14)	・ 資料28-3-1
基準部会	・ H28第5回(H28. 01. 10)議事録	・ 資料28-3-2
ワーキング3	・ WG3活動報告 (議事録) ・ Web公開資料の目次	・ 資料28-3-3 ・ 当日配布
ワーキング5	・ WG5活動報告 (議事録)	・ 資料28-3-4
	・ 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討WGの設立趣意書 ・ 同上 技術資料	・ 資料28-3-5 ・ 資料28-3-6
会員からの質問	・ ポータブルコーン貫入試験2017. 01. 16 ・ ポータブルコーン貫入試験2017. 02. 06	・ 資料28-3-7 ・ 資料28-3-8
会員からの質問と対応 (スウェーデン式サウンディング試験)	・ スウェーデン式サウンディング試験の質問 ・ 青本とJISの違い ・ SWS規格比較表-原案の変遷 ・ SWS規格比較表-各JIS比較 ・ JIS 1221-2013：スウェーデン式サウンディング試験	・ 資料28-3-9 ・ 資料28-3-10 (カラー刷り) ・ 資料28-3-11 (カラー刷り) ・ 資料28-3-12 (カラー刷り) ・ 資料28-3-13

審議事項

- (1) 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討WGの設立趣意書
- ・ 資料28-3-5
 - ・ 資料28-3-6
- ・ 東京海洋大学の谷先生 (本検討WGのリーダー) より、設立趣意書及び技術資料の説明があった。
その後、以下の質疑があった。
- 基準化の工程と、国際岩の力学学会 (ISRM) の試験方法に関する基準 (Suggested Methods) との関係はどうなるのか (末政委員長)。
 - ISRMのSuggested Methodsの工程は、(1) 基準化する試験の決定、(2) 基準のドラフト作成、(3) 基準の完成の3段階で、3年を考えている。Suggested Methodsは最終的にIntentional Journal of Rock Mechanics & Mining Sciencesに掲載されるので、5年位の予定となる。なおJGS基準は、ISRMのSMと概ね歩調を合わせて、基準化検討に1年、基準化に1~2年を考えている (谷先生)。

- 本検討委員会の構成メンバーとして、設立趣意書に書かれている3名以外の募集は考えていないか（幹事）。
- 現時点では、岩盤の原位置一軸・三軸試験方法を実施しているこれら3名のメンバー構成を考えているが、希望者や候補者があれば加えたい（谷先生）。
- 審議の結果、本基準化検討WGの設立は承認された。

→**基準部会3/8での審議事項**

(2) 会員からの質問と対応（スウェーデン式サウンディング試験）

- ・資料28-3-9
- ・資料28-3-10
- ・資料28-3-11
- ・資料28-3-12
- ・資料28-3-13

・幹事（浜田）より、「地盤調査の方法と解説, 2013」（以下、青本）に掲載されているJIS規格「スウェーデン式サウンディング試験方法」（以下、規格）についての会員からの質問について説明があった（以下は質問の主旨）。

「本試験法はJIS規格であると認識しているが、スクリーポイントはP. 326の図1で『スクリーポイントの例』とされていることから、JIS規格品ではないとの認識でいいか。」

・WG4（サウンディング）の大島リーダーより、本質問の回答文を作成している過程で、青本の規格と日本規格協会発行の規格とに違いがあることが発見され、それらの相違について説明があった。

・これについての対応策として、以下の意見が出された。

→青本と規格協会の規格のそれぞれについて、正誤表で最終版の規格に修正する。

→青本の規格を（正誤表で）「JGS基準」あるいは「規格案」とする。

→一般的にJIS規格に正誤表は望ましくないもので、見直しと改正作業に入る。

・審議の結果、以下の対応とすることとした。

→青本が2018年から改正検討の時期になるので、本規格を先行して改正する。

→質問者には、「例」となっているがスクリーポイントはJIS規格品であることを回答する。

→**基準部会3/8での審議事項**

→回答案の基準部でのメール審議の結果、スクリーポイントの図が「例」となっているので、「規格品ではない」と回答することとなった。

(3) 任期満了に伴う幹事の交代について

幹事（浜田）より、任期満了に伴うH29年度からの新任幹事として、以下の推薦があった。

（新任幹事の候補者）

- ・氏名：武政 学（たけまさ まなぶ）
 - ・所属：基礎地盤コンサルタンツ株式会社
 - ・役職：技術本部調査機器事業部 副部長
 - ・専門分野：地盤調査機器の開発、原位置試験の実施と解析
- 満場一致で承認された。

→**基準部会3/8への報告事項**

報告事項

- (1) 前回議事録確認（メール審議で承認済み）（資料28-3-1）
 - ・特に異議なし。
- (2) H28第5回の基準部会議事録（メール配信にて報告済み）（資料28-3-2）
 - ・特に異議なし。
- (3) ワーキング3 活動報告「議事録」（資料28-3-3）
 - ・竹内委員より、議事録に基づいてワーキング3の活動報告があった。
- (4) 地下水調査に用いる井戸理論式の整理及び解説（2017年度版）のWEB公開

・竹内委員よりWEB公開資料の目次について説明があり、下記URLにてテストサイトが閲覧できるとの紹介があった。

http://gw.civil.okayama-u.ac.jp/theoretical_formula/00.htm

(アドレスの.htmを.pdfに替えれば、PDF版になります)

また資料の「メモ」覧にあるHvorslev 1951 Fig. 18とHvorslev 1951 Fig. 12は、著作権者の許可が必要なので、事務局に申請フォーマットについて確認したい、とのことであった。

→委員会後に事務局に確認し、フォーマットを送付するとのことであった(幹事)。

→基準部会3/8への報告事項

- (5) ワーキング5 活動報告「議事録」(資料28-3-4)
- ・百瀬委員より議事録に基づいて、ワーキング5内で検討した「岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討WG」の設立準備についての活動報告があった。
- (6) 会員からの質問と回答
- ・ポータブルコーン貫入試験2017.01.16(資料28-3-7)
 - ・大島リーダーより、回答文の説明があった。
→特に異議なし。
 - ・ポータブルコーン貫入試験2017.02.06(資料28-3-8)
 - ・大島リーダーより、回答文の説明があった。
→特に異議なし。

→基準部会3/8への報告事項

その他

- ・特になし